



西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

2011年8月号

「主題」

- 国際会長 : 「とにかくやろうー成せばなる」
- アジア地域会長 : 「とにかくやろうー成せばなる」
- 西日本区理事 : 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」
- 中部部長 : 「先ず一步 楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげよう」
- プラザクラブ会長 : 「ワイズなワイズになろう」

【Youth Activities=ユースと共にワイズの世界を広げよう！】

8月例会および今後の予定案内

【8月第1例会】

日時：8月11日（木）・18：45ー
 場所：名古屋YMCA会議室
 内容：卓話「私の趣味」 講師：小澤 幸男

【8月第2例会】

日時：8月25日（木）・18：45ー
 場所：名古屋YMCA会議室
 内容：次月例会打ち合わせ
 出席義務者：役員（大島・櫛田・後藤）
 9月担当者（後藤・島崎）
 10月担当者（島崎・鈴木）

【今後の予定】

1. パレットキッズとマス釣り会
 日時：8月13日（土）・現地集合10：00
 場所：みやま荘・長野県木曾福島郡木曾町新開 7618-3
 TEL. 0264-27-6177
 2. アジア大会
 日時：8月4日（木）ー8日（月）
 場所：台北
 3. 第15回中部部会
 日時：8月28日（日）・部会式典13：30ー
 場所：名鉄ニューグランドホテル
 会費：10,000円/人
 4. ジャズコンサート
 日時：9月10日（土）・開演17：30
 場所：想念寺
 会費：3000円/人
 5. パレットキッズとハゼ釣り会
 日時：未定
- * 10月中旬までの土曜日か日曜日を予定しています

7月例会およびその他活動報告 (敬称略)

役員	会員氏名	出席者				
		1	2	①	②	③
会長	大島 孝三郎	○	○	○		
	小澤 幸男	○				
書記	櫛田 守隆	○	○	○		
会計	後藤 猛	○		○		
直前会長	島崎 正剛	○				
	鈴木 誉三	○				
副会長	高田 廣	○	○			
連絡主事	万福寺 昭美	○	○	○		
ゲスト	大島 富美子			○		
	常盤 真理子		○			
課外活動	①日和田キャンプ場作業(7/23-24)					
出席率・%					100.0	
1. ニコボックス					0	
2. オークション					0	
当月合計/累計					0	
9月号ブリテンの寄稿者は櫛田さんです。 400字詰原稿用紙4-5枚を目安にお願いします。 Eメール moritaka_kushida@ybb.ne.jp 10月号 万福寺/11月号 小澤/12月号 鈴木 1月号 島崎/2月号 高田/3月号 大島						

7月第1例会報告

日時：7月14日(木)・18:45-20:15

場所：名古屋 YMCA 会議室

1. 会食後島崎前会長の「EMCが達成できず残念、今後期待する」との挨拶に続き、新会長の「メンバーの卓話を中心に今後1年間クラブを運営したい」との抱負を語る。新役員の挨拶は、少人数のため代わり映えのしない役割分担に少々食傷気味で全員簡単に済みます。再度登場の島崎前会長は、資料を基に前年度の事業報告、前期に引き続き新年度も会計担当の後藤さんから、前年度会計報告に対して鈴木監査役の「間違いなし」の報告をもって全員の承認を得る。新年度活動方針は、先の挨拶とすでに配布済みの「年間事業計画表」で全員承知する。最後の新年度会計報告は、反省会を削ってファンドを貯めよう、との意図があり、ちょっと息苦しくなりそうだ。

2. 連絡事項・大島

- (1) 東日本大災害支援街頭募金(8/11)・参加者確認
8月11日・栄の中央教会 18:00 集合
第1例会と重なるため全員欠席。
- (2) パレットキッズとマス釣り(8/13)・参加者確認
大島・榎田・後藤・島崎
- (3) 日和田キャンプ場清掃作業(8/23-24)・参加者確認
大島・榎田・後藤・鈴木(予定)
榎田さんは、「モップ回転バケツ」2台購入、現地に持参する。使用後キャンプ場に寄付する。
- (4) 中部部会(8/28)・参加者確認
会長は締切日までに東海クラブへ8人分申し込む。

7月第2例会報告

日時：7月28日(木)・18:45-20:15

場所：名古屋 YMCA 会議室

1. 常盤真理子さん出席

- (1) 本日2回目の例会出席、入会希望のためプラザの会則、申込書等関連書類をお渡りする。
- (2) 常盤さん発言、「中部部会参加を考えたい」

2. プラザホームページの整理・大島

現在西日本区中部のHPとプラザHPのリンクに問題ありと、HP委員会より指摘されていますので、今後問題点を洗い出し改善策を全員で検討する。

3. 連絡事項・大島

- (1) 第15回中部部会
 - a. 全員の8人、東海クラブに連絡済み、なお常盤さんは欠席を8月の第1例会までお願いします。
 - b. ゲストの会費を確認する。
 - c. 万福寺さんはメネットアワーに出席願います。
- (2) 名古屋地区ワイズ連絡会

12月クリスマス例会は、名古屋、南山、プラザ3クラブ合同の予定。

(3) 日和田キャンプ場ワーク(詳細2面)

(4) 8月プログラム確認(詳細1面)

4. YMCAからの連絡事項・万福寺

8月11日木曜日の街頭募金例会と重なり、プラザ全員欠席を報告。



(1日目は釣り姿、大島さんに遠慮しながら飲む2人)



(全員集合!! はい・ちーず 以上グランパス 荒川氏撮影)

日和田キャンプ場開設準備顛末記

日和田キャンプ場開設準備のお手伝いをするのは、今年で4年目になる。もっとも、お手伝いを口実に1日目に溪流釣りをし、後藤・榎田両人の行動は周知の事実らしい、ということで釣りの話から始めよう。

約2時間で木曾川の支流、黒川に着く。いつも通りみやま苑の管理地境界線から下流を攻める。この地点から上流域に2つの管理釣り場があり、3日前に通過した台風のお陰で増水して逃げた渓魚がいらないだろうか、などと不心得なことを考えながら川に入る。15メートルほどの川幅の両岸から木が覆って陽がとどかない川は、カゲロウが舞う平瀬が続く。平瀬とは水深が浅く平坦で流れが穏やかなところ、渓魚が産卵、補餌、成長を繰り返す彼らの生活場所である。渓魚たちはこの生活圏への闖入者である釣り人の足音や人影には敏感なため、先に行く者が有利なのは当然で、後藤師

匠といえども先行したわたしの方がよく釣れたが、お昼からの開田高原の川では完敗だった。

夕方に着いたキャンプ場の玄関前広場の草は刈られていた。今年の参加者は、グランパス5人、プラザは大島夫妻を含む4人、YMCA スタッフ4人、台湾からの研修生2人、急ぎ草刈をして根ノ上に向かった東海の八木さんを加えて計16人と、4年前に比べれば大勢集まった。丁寧に料理してくださいとお願いした数少ない獲物は、揚げ物や塩焼きになり夕食に供され、美味しくいただくことができた。今年は合格！！

翌日は8時の朝食後、わがプラザクラブは毎年の担当である玄関周りの清掃である。今日のために会長にお願いして買った「回転モップ」2台を組み立てて使ってみたが、モップを絞るときと床を拭くときに、いちいち柄の角度を調整する手間が面倒で、どうも具合が悪い。拭いた仕上がりはまずまずなので、扱いに慣れれば戦力になりそうである。YMCAのスタッフのみなさん、回転バケツはここに置いておきますので可愛がってあげてください。

廊下を拭き、玄関に置かれた不用品を外に出し、ザラ板、下駄箱、たたきを拭き、出した靴を洗い、それを下駄箱に戻して終了。家では何もしない年寄り3人は、ときどき休み腰をいたわりながら、9時から始めて3時間なんとかやり遂げた。グランパスの「まだ若者集団」は、2日連続の草刈に精を出す。

昼食のひんやりしたソーメンを食べて、ごろりと一休み、空腹を満たし疲れを取ってめいめい帰途につく。

温泉めぐり

趣味の溪流釣り(ヤマメ、岩魚釣り)を終え、帰る途中疲れと眠気を癒すため、よく温泉に入って帰宅することがあります。往復で250~400kmほどの道のりですので、古稀を迎えた歳では安全運転には欠かせない、一時の休息です。

愛知県、岐阜県、福井県、石川県、長野県などに釣行しますが、どこも溪流釣り場の近くに天然温泉が湧き出ており、一服して帰るには良い場所です。私だけの楽しみでは家内に相済まないとの思いで、温泉入浴だけの遊びは何時も同伴で行きます。たまたま、ある温泉の受付のカウンターで「温泉シールラリー」の本を見つけ、1冊300円で買いました。特典は各温泉に入浴する時、この本を受付に出してその温泉の箇所にシールを張ってもらい、3件毎に1本のくじが引けます。今年の一等はハワイペア旅行券、旅行券30,000円などです。今から5~6年前から参加しています。

当時は岐阜県を中心として、38件程度の温泉施設から始めました。今や東コース(岐阜、愛知、三重、静岡、長野エリア)99件、西コース(富山、石川、福井、滋賀、

京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫、鳥取、岡山エリア)98件、東西合わせて197件の天然温泉での参加施設になっています。

東西地区全部走破の方には事務局から相撲部屋に見立てて、親方の称号をくれます。さらに東地区で72件以上、西地区72件以上で横綱の称号をくれます。親方、横綱、大関、関脇、小結等は別途のお楽しみ、ゆらんグッズなどいただけます。

5~6年前から今まで毎回、私は横綱の称号は取って来ましたが、これと云った大きな賞品は当てたことがありません。楽しみは、本来の温泉巡りが中心で温泉にも色いろな特徴があり、乳白色の温泉は平湯の森(岐阜県)、乗鞍高原の湯けむり館(長野県)、茶褐色の温泉は御嶽明神温泉(岐阜県)、ひめしゃがの湯(岐阜県)、つるつる感のある温泉は美輝の里(岐阜県)、池田温泉(岐阜県)、板取川温泉(岐阜県)、掛流しの温泉はひらゆの森、大白川温泉(岐阜県)、湯の山片岡温泉(三重県)、飲泉が出来る温泉はひめしゃがの湯、猿投温泉(愛知県)、グリーンホテル(三重県)などです。

自然豊かな温泉は天の湯(岐阜県)、水晶の湯(岐阜県)、上之保温泉・ほほえみの湯(岐阜県)。私のお気に入り、湯ノ山グリーンホテル温泉、特に露天風呂でさくらの花や石楠花が咲きみだれる時などは最高な気分になります。ひらゆの森は硫黄泉で硫黄の臭いが温泉らしく、また特別な感じをうけます。

時間に余裕のある方はぜひ一度お試しください。(後藤 猛)

句読点

落語が出所の「ぎなた・よみ」が、広辞苑に載っている。演目は忘れ、あらすじもうろ覚えだが、こんな斬りだった。粗忽者の八つあなが、弁慶の活躍を書いた講談本、「衣川の戦い」を湯屋か床屋の閑人を相手に読み聞かせる、というもので、八つあなが「弁慶がな、ぎなたを持ってさ、し殺した」と読むと、「弁慶が薙刀を持って刺し殺した、じゃねえか」と混ぜっ返される一席。広辞苑には「句読点を間違えた読み」とある。忘れた演目とあらすじをネットで検索しても分からず、余禄に出てきたのが、『近松門左衛門は、句点を軽んじた数珠屋に「ふたえにしてくびにかけると読む、長い数珠を作ったが、実際に注文したのは「二重にし、手首にかけると読む」であった。』という挿話である。(Wikipedia) 同じ話が別のホームページにある。近松門左衛門が弁慶に、数珠屋が仏具屋にかわり、時代も五百数十年違ふ。句読点の概念がない平安末期や江戸時代の「近松門左衛門が句点を軽んじた数珠屋」との解説には合点がいかない。

句読点の歴史は、室町末期のきりしたんや江戸時代初期のオランダなど、欧文のカンマ・ピリオドに影響を受けたのが始まり、と言われている。明治に入ると二葉亭四迷を中心に「言文一致運動」が起こり、かつこ、句読点などを用いて新聞、雑誌などに広く普及、現在の日本語表記の原型となった。明治39年(1906)、文部省は「句読法案」を起草、マル(。)、テン(、)、ポツ(。)、カギ(「」)、フタヘカギ(『』)の5種類の書き方を規定して国定教科書の基準に使った。大正から昭和初期にかけて、句読点は一般化する。昭和の軍国時代、左横書き(読み)が「米英的」と批判され、「伝統的」な右横書きが、新聞の広告や見出しに適用されていた。昭和21年(1946)「国民の国語運動連盟」が内閣総理大臣に、下記7項目からなる「法令の書き方についての建議」を提出、法令・公用文の表記方法の改革が始まる。7項目とは、①文体は口語体とする。②むずかしい漢語は出来るだけ使わないこと。③わかりにくい言い回しを避けること。④漢字は出来るだけ減らすこと。⑤濁点、半濁点、句読点を用いること。⑥かなは平仮名を用いること。⑦行を改めるときは書き出しの一文字を下げる、である。

1934年(昭和9年)中央公論社より出版された、谷崎潤一郎の「文章読本」によれば、『句読点というものは宛て字や仮名使いと同じく、到底合理的には扱いきれないのであります。そこで私は、これらを感覚的效果として取り扱い、読者が読み下す時に、調子の上から、そこで一と息入れて貰いたい場所に打つことにしておりますが、その息の入れ方の短い時に、やゝ長い時に、を使います。この使い方は、実際にはセンテンスの構成と一致することが多いようではありますが、必ずしもそうとは限りません。私の「春琴抄」という小説の文章は、徹底的にこの方針を押し進めた一つの試みでありまして、たとえばこんなふうであります』と書き、「女で盲目で独身であれば贅沢といっても・・・」と続くセンテンスの区切り読点(、)は一切なく漢字交じりの131文字目に句点(。)が打たれていた。実に原稿用紙の3分の1を、息継ぎなしに読むには無理がある。この例文の字数は480文字、400字詰め原稿用紙の1.2倍の文章に読点は6個、句点は3個のみ、一と息どころではない。この文豪が提唱した「生理的な句読点の打ち方」は、後世の「文書読本」作家たちに全否定される。(斉藤美奈子著「文章読本さん江」筑摩書房発行(2002.02.05))

聖書の言葉

【そこで、イエスは彼らを呼び寄せて、言われた。「あなたがたも知っているとおりに、異邦人の支配者と認められた者たちは彼らを支配し、また、偉い人たち

は彼らの上に権力をふるいます。しかし、あなたがたの間では、そうではありません。あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、みな従える者になりなさい。あなたがたの間で人の先に立ちたいと思う者は、みなしもべになりなさい。人の子が来たのも、仕えられるためではなく、かえって仕えるためであり、また、多くの人のための、贖(あがな)いの代償として、自分のいのちを与えるためなのです。」(マルコの福音書10:42-45)】

【人の上に立つ人とは

首長として立てられた者は人々を支配する。

高官や官僚たちは人々の上に立ち、

思うままに権力をふるってやまない。

しかし、私は言う。

あなたたちの間ではそれと同じようにしてはならない。

自分が偉くありたいのならば、

みんなの召使にならなければならない。

自分がみんなの上に立ちたいのならば、

みずから誰にでもこころよく仕える奴隷にならなければならない。(白取春彦著「超訳聖書の言葉」幻冬社発行)】

【海江田経済産業相は6月29日佐賀県知事を訪ね、玄海原子力発電所「再稼働OK」のお墨付きを与え、首相も了解した事案を、菅首相は6日の衆院予算委員会で「ストレステストを実施、安全性が確認された後再稼働を認める」と発言した。順序が逆だ、とまたもめ始めた。「順序が逆」ともめる問題か？ やるのならテスト内容、時期、どの原発、古いのからか、型式か、などの優先順位を決めて早めに開示すべきで、電力が足りないからと、拙速に再稼働させていいものか、本質を議論してもらいたい。1週間後の13日、記者会見で菅首相は「脱原発依存」を唐突に表明した。またやってしまった「思いつき発言」に与野党内で波紋を広げ、執行部は「民主党の方針ではない」、「首相個人の思い」と冷やかな対応である。ストレステストは初耳だったが、内容を知れば意味はあるし「脱原発」についても評価する(注)。だが、現物を渡さず運用は任せろ、と裏づけのない預り証を交付するペーパー商法のようなもので無責任である。上に立つ者に求められる資質は「真摯さ」とドラッカーは言った。部下は、上司の無能、無知、頼りなさには寛大でも、真摯の欠如は許さない。閣内からは「首相個人の考え」、閣僚は「話を聞いたことがない、十二分に議論し関係自治体との調整もして政府の結論を出すべきだ」などの発言が相次ぐ。15日の閣僚懇談会では「私的な思い」と政府方針でないことを表明する。またまた物議を呼びそうだ。この時期、この方だったことが、この国の不幸である。

(注)「原子力発電の依存度を減らす」賛成=民主党支持層77.2%、無党派層70.3%、自民党支持層58.9%(産経新聞、FNN合同世論調査(2011.06.27)) 「原子力発電を段階的に減らして将来はやめる」賛成=74%(朝日新聞世論調査(2011.06.11-12))】